

サンライズ CUP チャイルド団体ルール

☆チャイルド団体のねらい☆

①小学生のうちに楽しいという気持ちを育てるため
②仲間と協力する力を育てるため
③基礎・基本を見直し美しい身体をつくるため

徒手団体ルール

【2017～2020 年新体操採点規則に従う】

難度の数	最高 5 個	左右なし ジャンプ・バランス・ローテーション全員で1難度行うこと他2個はサブグループでも可能
ジャンプ	最低 1 個	
バランス	最低 1 個	動脚が水平以下のバランスはルルベでの実施で行うことスローターン追加可能(踵をつけて+0.1、ルルベにて+0.2)
ローテーション	最低1個	ローテーションは立位にて行うもののみとするフェット及び形の変更を伴うピボットも可
ダンスステップ コンビネーション	最低3つ	8秒間以上テンポ、リズム、音楽の特徴とアクセントに従って最低2つの異なる動きの多様性を伴って
関係	最低4つ	5名全ての選手によるサブグループにて(2人組、3人組) パートナーの上を通過、及び中、下をぐり抜ける

※ダンスステップコンビネーション中のアクロバット・0.1 の難度は禁止です。

※難度5個のうち3個まで後屈ありの難度を可能とします。

※回転要素の回数の制限はなし。但し同じ回転要素(プレアクロバット要素・シエネ・イリュージョンなど)の繰り返しは無効となる。

※特別減点項目

難度の多様性減点、フォームの偏りは減点となります。

【例 難度5個のうち胴の後屈を伴う難度を4つ以上行った場合に減点となります。】

☆関係について☆

C	パートナーの上を通過、中・下をぐり抜ける:0.1
C	腰より上に持ち上げるリフト:0.3 ※但し1回のみ

☆難度の使用について☆

※技術委員会はジュニア選手がBDを膝つきにて実施することを推奨しない

禁止とする難度	
バランス	No.13～No.16 膝つきにて行うバランス
	No.23 2つまたは3つの形を伴ったダイナミックバランス
	No.24 前から後ろ・後ろから前に脚を移行させるダイナミックバランス
ローテーション	No.20 腹部でのローテーション
	No.21 手の補助を伴う開脚でのローテーション

※難度の前と後ろに『回転』『波動』をつけても0.1の価値はない。

※申告書なし

※ダウングレードあり

☆音楽☆

自由(歌詞あり可) 2分15秒～2分30秒